令和７年度シラバス

教　科	科　　目	単位数	履修学年・クラス
国　語	言語文化	２	１－１、１－Ａ

１．学習の到達目標

・言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成する。
・生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
・自己以外の者に共感する心を育み、人生を豊かにする人権感覚をもつ。

２．学習の計画

	学　習　内　容	学　習　の　ね　ら　い
１学期	・地域の「ことば」 とんかつ ・古文に親しもう ・「ことば」を吟味する 舟を編む ・古文の世界を楽しむ 児のそら寝　　検非違使忠明 ・基本的な学習内容の確認	・同年代の少年の成長した姿に自分の姿を相対させるとともに、巧みな構成による短編の魅力を味わう。 ・いろは歌と有名作品の冒頭部分を音読することで古文に慣れ親しむ。 ・言葉の多様性の発見、辞書の持つ魅力の再確認、お互いを補い合う登場人物の関係性について読み取る。 ・古文を読み進めるために必要な知識を身につけながら、古文を読む楽しさを感じる。 ・国語表記、国語表現の基礎に立ち戻り、正しい日本語について再確認する。
２学期	・受け継がれる古典 羅生門 ・現代にも生きる教え 徒然草　「高名の木登り」他 ・語感を磨く 側転と三夏 ・昔と変わらない人の心 伊勢物語 ・基本的な学習内容の確認	・登場人物の行動や心理の変化を深く読むことで小説の面白さを感じるとともに、多様な観点から主題を考察する。 ・内容の理解を深めることで、現代にもつながる教訓へと展開する妙味を味わう。 ・日本文化の一つの結晶である俳句の特性を感じ取り言葉に対する感覚を磨く。 ・地の文と和歌が密接な関係を持って構成されている「歌物語」の特徴を学ぶ。 ・基本的な語彙の使い方や表記について再確認する。
３学期	・文体の魅力 名人伝 ・漢文 日本語の中に生きる漢文　故事と成語 ・基本的な学習内容の確認	・軽快・軽妙な旋律の中に立ち現れる寓意や批評性、人間社会への視点を捉える。 ・漢文が日本の言語文化に及ぼしてきた影響について理解を深める。 ・反復学習により知識を定着させ、活用する力をつける。

３．評価方法・評価の観点

評 価 方 法	定期テスト、提出物、授業態度による。

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の内容	習得した知識、技能を既有の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に概念などを理解したり、技術を習得したりしているか。	国語科の知識及び技能を活用して、課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力を身につけているか。	知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力等を身につけたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど、自らの学習を調整しながら学ぼうとしているか。

４．使用教科書・副教材

使用教科書	新編　言語文化（数研出版）
副　教　材	なし